

平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月5日

上場会社名 株式会社 ドワンゴ 上場取引所 東
 コード番号 3715 URL <http://info.dwango.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 松本 康一郎 (TEL) 03-3664-5477
 業務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（インターネット配信）

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	23,021	19.2	1,692	250.3	1,774	310.4	1,641	369.4
21年9月期第3四半期	19,321	6.6	483		432		349	

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	8,767	77		
21年9月期第3四半期	1,838	99	1,838	77

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年9月期第3四半期	21,219		16,141		73.6	83,438	53	
21年9月期	20,921		14,966		68.8	76,906	62	

（参考）自己資本 22年9月期第3四半期 15,624百万円 21年9月期 14,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期					2,000	00	2,000	00		
22年9月期										
22年9月期（予想）					2,000	00	2,000	00		

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年9月期の連結業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	29,700	11.7	1,300	227.4	1,300	280.1	1,100		5,874	44

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 - 社 (社名) 除外 - 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

22年9月期 3 Q	198,001株	21年9月期	198,001株
22年9月期 3 Q	10,749株	21年9月期	10,749株
22年9月期 3 Q	187,252株	21年9月期 3 Q	190,174株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確実性が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
【参考情報】	5
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書	9
(第3四半期連結累計期間)	9
(第3四半期連結会計期間)	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年10月1日～平成22年6月30日)における我が国経済は、国内外の緊急経済対策や金融緩和などにより、一部に景気回復の兆しが見られたものの、依然として厳しい雇用情勢やデフレ状況の継続による個人消費の伸び悩みなど、厳しい環境が継続しております。

当社グループ(当社、連結子会社および持分法適用会社)を取り巻く環境では、携帯電話市場の成熟化、スマートフォンや次世代規格の高機能新端末の普及が進み、一方PCにおいてはブロードバンドが普及し、サービス面においては携帯電話やPCの垣根を越え、ブログやCGM(消費者発信型メディア)、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)、動画コミュニティサービスなど、先進的なユーザを惹きつけるサービスが人気を博し、今後もユーザのコミュニケーション多様化・複雑化などにより、今までに無い多種多様なサービスが展開されていくものと予測されます。

このような環境の中、当社グループにおきましては、ネットワークを通じた新しいコミュニケーション手段を提供すべく、良質なエンタテインメントサービス・コンテンツを携帯電話・PC・家庭用ゲームソフト市場などで事業展開してまいりました。

事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。

モバイル事業においては、主力サイトである着うた®・着うたフル®において、引き続き人気アーティスト・楽曲の権利獲得や、当社グループの強みを生かしたゲーム系や実用系などのオリジナルコンテンツ開発などにも注力してまいりました。また、既存会員のロイヤリティを高め、新たな会員の獲得を目的とした様々な運動企画やタイアップ企画、ユーザ獲得に効果的なプロモーションなどを実施してまいりました。結果、当第3四半期末の有料ユニークユーザ数は388万4千人(前年同期比6万4千人増)となりました。また、高単価である着うたフル®の購入比率が増加したため、ARPUは400円(同6円増)となりました。

費用面においては、主力サイトである着うた®・着うたフル®サイトの比率が高まっていることから、著作権等使用料が増加傾向にありますが、コンテンツ制作費などの圧縮を行いました。

以上の結果、モバイル事業の売上高は137億43百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は32億37百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

ゲーム事業においては、パッケージゲームにおいて当社グループの主力シリーズタイトルを中心に携帯型・据置型への提供や、受託および共同開発、海外の人気タイトルを権利取得しそれを国内にて提供するなどを展開してまいりました。

第3四半期におきましては、既に発売しているタイトルである「喧嘩番長4 ～一年戦争～」、「不思議のダンジョン 風来のシレン4 神の眼と悪魔のヘソ」などのリピート発売や、平成22年5月に海外タイトルを国内向けに発売した「METRO」、ネットワークゲームではMMORPG「Blade Chronicle」などが売上に貢献しております。

以上の結果、ゲーム事業の売上高は41億8百万円(前年同期比40.8%増)、営業利益は8億12百万円(前年同期比125.1%増)となりました。

ポータル事業においては、ニコニコ動画において、他メディアにはない斬新かつ新鮮な各種コンテンツをリアルタイム配信する「ニコニコ生放送」の積極的な展開や、年齢・性別に拘らない様々な嗜好を持ったあらゆるユーザに対応した「ニコニコチャンネル」の拡大、また、平成22年4月にサービスを開始した動画視聴中に他のユーザとゲームで遊ぶ事ができる「ニコニコ遊園地」など、一層のサービス強化およびユーザの利便性向上に努めてまいりました。

これらの取り組みにより、平成22年6月末には登録会員数1,744万人、様々な特典が受けられる「ニコニコプレミアム会員」は85万人、携帯電話でも楽しめる「ニコニコ動画モバイル」の会員数は527万人となりました。

収益面においては、サービス開始以来圧倒的なユーザ支持を得ている「ニコニコ生放送」の人気などにより「ニコニコプレミアム会員」が順調に増加し、有料会員収入が大きく貢献しております。また、広告収入につきましては、大手クライアントからの出稿を得るなど、着実に貢献してきており、その他の収入につきましても、着実に伸ばしております。

費用面においては、登録会員数の増加やユーザの利用頻度増加による回線やサーバなどのインフラ費用の増加ペースは落ち着いてきたものの、「ニコニコ生放送」など、集客・収入に直接結びつくサービスへの投資や新たな収益源となりうるサービスへの投資などを継続しております。

以上の結果、ポータル事業の売上高は44億47百万円(前年同期比99.0%増)、営業損失は43百万円(前年同期は13億40百万円の営業損失)となりました。

その他事業においては、主にアニメ分野におけるCDやDVDなどの音楽出版による著作権利用料収入などがそれぞれ売上に貢献しております。

以上の結果、その他事業の売上高は13億21百万円(前年同期比33.0%増)、営業損失は1億34百万円(前年同期は53百万円の営業損失)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結業績は、売上高230億21百万円(前年同期比19.2%増)、営業利益16億92百万円(前年同期比250.3%増)、経常利益17億74百万円(前年同期比310.4%増)、四半期純利益は16億41百万円(前年同期比369.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部の合計は212億19百万円（前期末は209億21百万円）と、前連結会計年度末に比べ2億98百万円増加いたしました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億24百万円減少し、157億32百万円となりました。これは主に有価証券の償還及びたな卸資産の減少によるものです。

固定資産につきましては、有形固定資産が23百万円、無形固定資産が2億95百万円、投資その他の資産が3億4百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ6億23百万円増加し、54億87百万円となりました。これは主に無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアおよび投資有価証券の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債の部の合計は50億78百万円（前期末は59億55百万円）と、前連結会計年度末に比べ8億76百万円減少いたしました。これは主に流動負債のその他に含まれる前受金の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部の合計は161億41百万円（前期末は149億66百万円）と、前連結会計年度末に比べ11億75百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により増加したものの、投資活動及び財務活動において減少したこと等により6億3百万円の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュフロー）

営業活動の結果得られた資金は11億27百万円（前年同期は6億19百万円の収入）となりました。これは主に投資有価証券売却益で4億83百万円、前受金の減少で6億4百万円の支出要因となったものの、税金等調整前四半期純利益で18億59百万円、減価償却費で7億17百万円が収入要因となったためであります。

（投資活動によるキャッシュフロー）

投資活動の結果使用した資金は14億39百万円（前年同期は19億81百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の売却により6億14百万円の収入要因となったものの、無形固定資産の取得により11億9百万円支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュフロー）

財務活動の結果使用した資金は2億90百万円（前年同期は19億45百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の連結業績予想につきましては、本資料の公表時点では、平成22年5月13日に「平成22年9月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計基準等の改正に伴う変更

企業結合に関する会計基準等の適用

当第3四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

2. 1. 以外の変更

連結納税制度の適用

当社グループは当第3四半期連結会計期間より株式会社ゲームズアリーナを連結納税親法人とした連結納税制度を適用しております。これによる影響額は軽微であります。

【参考情報】

1. 当第3四半期連結累計業績

〔売上構成〕

(単位：百万円)

	前第3四半期 (売上比)	当第3四半期 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	当第3四半期の主な変動要因
売上高	19,321	23,021	26,568	
モバイル事業	13,267 (68.7%)	13,743 (59.7%)	17,855 (67.2%)	着うたフル®の売上増加による。
音楽系	12,155 (62.9%)	12,671 (55.0%)	16,391 (61.7%)	
ゲーム・その他	1,111 (5.8%)	1,072 (4.7%)	1,463 (5.5%)	
ゲーム事業	2,919 (15.1%)	4,108 (17.8%)	3,673 (13.8%)	パッケージ売上増加による。
ポータル事業	2,235 (11.6%)	4,447 (19.3%)	3,281 (12.3%)	プレミアム会員数の増加による。
その他事業	993 (5.1%)	1,321 (5.7%)	2,104 (7.9%)	
消去又は全社	94 (0.5%)	599 (2.5%)	346 (1.3%)	

〔売上原価主要科目〕

(単位：百万円)

	前第3四半期 (売上比)	当第3四半期 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	当第3四半期の主な変動要因
売上原価	11,337 (58.7%)	12,930 (56.2%)	16,112 (60.6%)	
人件費	2,911 (15.1%)	3,067 (13.3%)	3,939 (14.8%)	
支払手数料	1,252 (6.5%)	987 (4.3%)	1,612 (6.1%)	
著作権等使用料	3,750 (19.4%)	4,138 (18.0%)	5,186 (19.5%)	着うたフル®のダウンロードが増加したことによる。
外注費	2,509 (13.0%)	3,098 (13.5%)	3,917 (14.7%)	
通信費	1,142 (5.9%)	1,363 (5.9%)	1,545 (5.8%)	ニコニコ動画回線費用増加による。
その他	1,685 (8.7%)	1,317 (5.7%)	2,340 (8.8%)	
たな卸資産	355 (1.8%)	740 (3.2%)	294 (1.1%)	パッケージ売上増加による。
(他勘定振替)	1,557 (8.1%)	1,783 (7.7%)	2,135 (8.0%)	

〔販売費及び一般管理費主要科目〕

(単位：百万円)

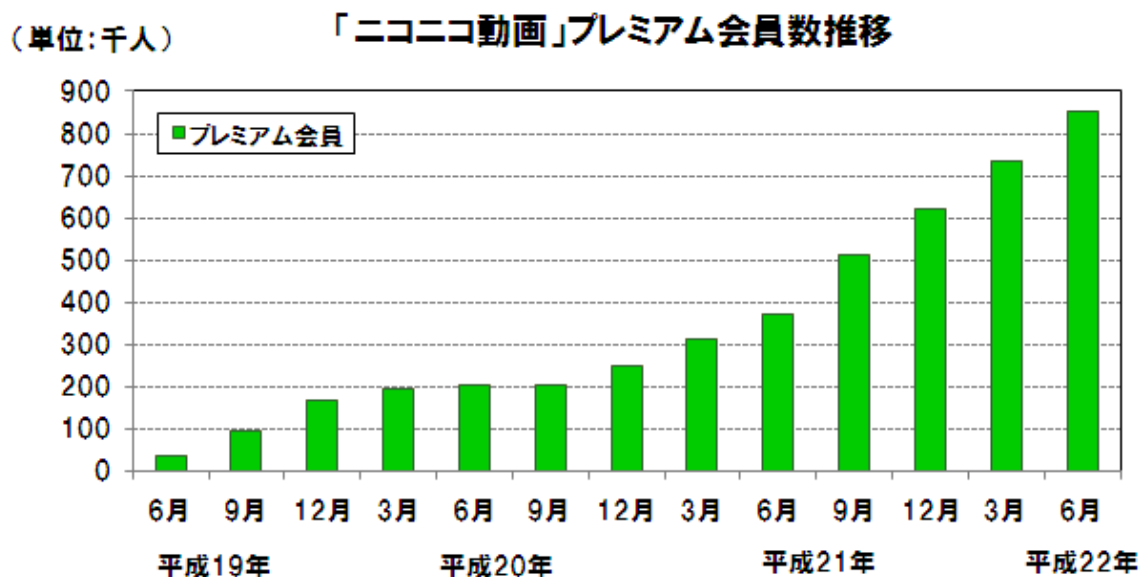
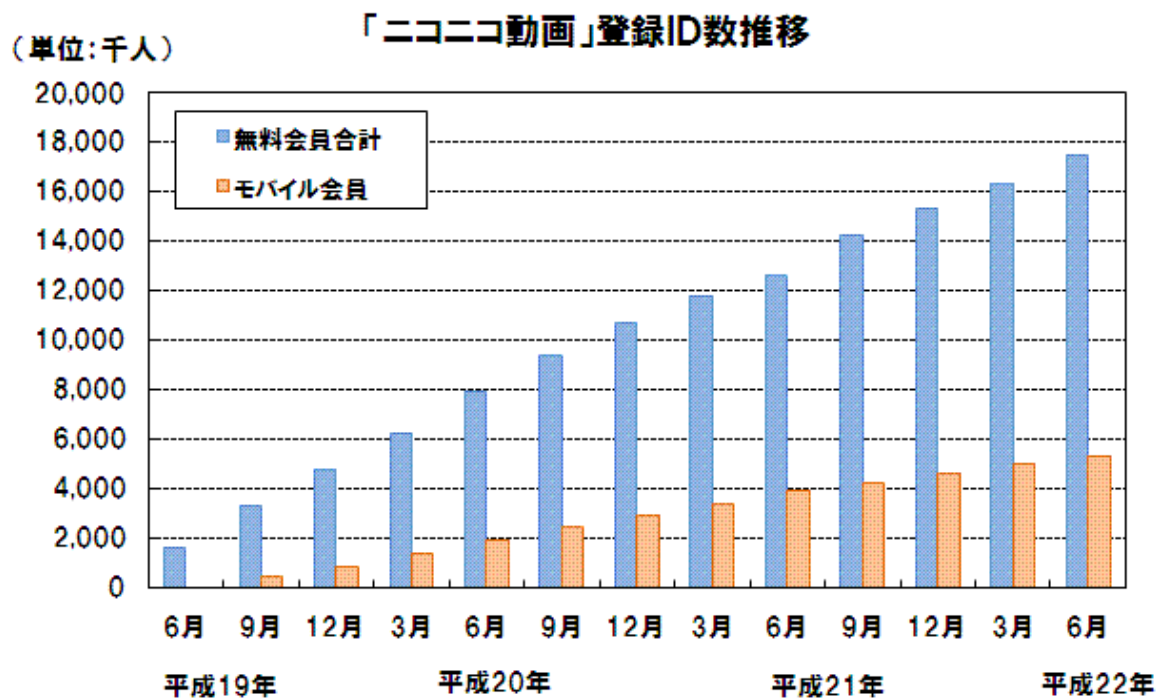
	前第3四半期 (売上比)	当第3四半期 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	当第3四半期の主な変動要因
販売費及び 一般管理費	7,500 (38.8%)	8,398 (36.5%)	10,059 (37.9%)	
広告宣伝費	2,411 (12.5%)	3,072 (13.3%)	3,382 (12.7%)	モバイル広告の増加による。
人件費	1,319 (6.8%)	1,510 (6.6%)	1,754 (6.6%)	
支払手数料	2,009 (10.4%)	2,248 (9.8%)	2,733 (10.3%)	
研究開発費	1,036 (5.4%)	659 (2.9%)	1,217 (4.6%)	ネットワークゲームに係る研究開発費の減少による。
その他	724 (3.8%)	909 (3.9%)	970 (3.7%)	

当第3四半期末の従業員数(連結)は、846名となり、前第3四半期末より52名、前連結会計年度末より57名増加しております。

2. ユーザ動向



- (注) 1. ARPU (Average Revenue Per User) とは、ユーザ1人当りの月間売上高のこと。同一ユーザの複数サイトへの加入状況を把握することで算出が可能となっております。顧客単価と同義。
2. 有料ユニークユーザー数とは、ユーザIDに基づきカウントする有料ユーザー数。延べ数ではなく、同一ユーザが複数サイトへ加入している場合にも1人としてカウントします。



3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,472,394	4,278,985
受取手形及び売掛金	5,872,676	5,668,938
有価証券	3,506,300	4,303,591
たな卸資産	¹ 682,726	¹ 918,751
その他	1,202,527	892,746
貸倒引当金	3,793	5,205
流動資産合計	15,732,831	16,057,808
固定資産		
有形固定資産	² 1,015,023	² 991,618
無形固定資産		
その他	1,180,063	884,931
無形固定資産合計	1,180,063	884,931
投資その他の資産		
投資有価証券	2,726,002	2,303,186
その他	566,005	684,086
投資その他の資産合計	3,292,007	2,987,272
固定資産合計	5,487,094	4,863,822
資産合計	21,219,925	20,921,631
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,707,214	1,814,083
短期借入金	980,000	900,000
未払法人税等	-	88,416
賞与引当金	205,904	392,450
その他の引当金	11,643	34,912
その他	2,118,267	2,662,304
流動負債合計	5,023,029	5,892,167
固定負債		
その他	55,624	63,295
固定負債合計	55,624	63,295
負債合計	5,078,653	5,955,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,072,922	10,072,922
資本剰余金	9,402,772	9,777,276
利益剰余金	2,399,857	4,046,242
自己株式	1,479,247	1,479,247
株主資本合計	15,596,590	14,324,709
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,197	76,835
為替換算調整勘定	755	626
評価・換算差額等合計	27,441	76,209
少数株主持分	517,240	565,249
純資産合計	16,141,271	14,966,168
負債純資産合計	21,219,925	20,921,631

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	19,321,062	23,021,645
売上原価	11,337,516	12,930,630
売上総利益	7,983,545	10,091,015
販売費及び一般管理費	7,500,410	8,398,676
営業利益	483,135	1,692,338
営業外収益		
受取利息	20,120	6,738
受取配当金	20,730	820
持分法による投資利益	-	102,186
その他	15,384	11,582
営業外収益合計	56,235	121,328
営業外費用		
支払利息	11,479	16,673
持分法による投資損失	61,451	-
投資事業組合運用損	-	12,359
出資金運用損	-	8,333
その他	34,144	2,088
営業外費用合計	107,075	39,454
経常利益	432,295	1,774,212
特別利益		
投資有価証券売却益	50,599	483,717
返品調整引当金戻入額	11,491	-
持分変動利益	18,327	104,939
その他	1,316	2,357
特別利益合計	81,735	591,014
特別損失		
固定資産除却損	10,350	23,600
減損損失	81,260	433,472
投資有価証券評価損	29,385	15,187
事業整理損失引当金繰入額	23,433	33,111
特別損失合計	144,429	505,371
税金等調整前四半期純利益	369,601	1,859,855
法人税、住民税及び事業税	88,419	135,863
過年度法人税等戻入額	112,439	-
法人税等調整額	133,382	111,338
法人税等合計	109,362	247,202
少数株主損失()	89,488	29,129
四半期純利益	349,727	1,641,782

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	6,110,253	6,931,485
売上原価	3,823,190	3,790,683
売上総利益	2,287,062	3,140,802
販売費及び一般管理費	2,216,478	2,630,076
営業利益	70,583	510,725
営業外収益		
受取利息	2,551	1,426
出資金運用益	1,449	-
持分法による投資利益	-	103,530
その他	1,395	2,220
営業外収益合計	5,396	107,177
営業外費用		
支払利息	3,915	5,827
持分法による投資損失	20,575	-
投資事業組合運用損	-	4,835
その他	8,618	599
営業外費用合計	33,108	11,262
経常利益	42,871	606,640
特別利益		
投資有価証券売却益	47,600	359,476
持分変動利益	18,327	104,939
その他	1,316	668
特別利益合計	67,244	465,084
特別損失		
固定資産除却損	915	7,533
減損損失	50,548	348,934
特別損失合計	51,464	356,467
税金等調整前四半期純利益	58,651	715,257
法人税、住民税及び事業税	13,838	2,104
過年度法人税等戻入額	537	-
法人税等調整額	2,179	2,862
法人税等合計	15,480	4,966
少数株主損失()	88,100	63,916
四半期純利益	131,271	774,207

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	369,601	1,859,855
減価償却費	1,038,225	717,865
減損損失	81,260	433,472
のれん償却額	24,183	20,180
貸倒引当金の増減額(は減少)	-	1,412
賞与引当金の増減額(は減少)	141,870	186,546
返品調整引当金の増減額(は減少)	1,216	29,813
事業整理損失引当金の増減額(は減少)	8,849	6,544
受取利息及び受取配当金	40,850	7,569
投資事業組合運用損益(は益)	12,566	12,359
支払利息	11,479	16,673
持分法による投資損益(は益)	61,451	102,186
投資有価証券売却損益(は益)	50,599	483,717
持分変動損益(は益)	18,327	104,939
固定資産除却損	10,350	23,600
投資有価証券評価損益(は益)	29,385	15,187
売上債権の増減額(は増加)	293,880	203,737
たな卸資産の増減額(は増加)	467,728	236,025
その他の資産の増減額(は増加)	460,529	242,036
仕入債務の増減額(は減少)	52,996	106,869
未払金の増減額(は減少)	78,865	96,637
前受金の増減額(は減少)	564,995	604,522
その他の負債の増減額(は減少)	36,977	94,501
その他	5,638	113,024
小計	742,813	1,383,573
利息及び配当金の受取額	45,266	10,586
利息の支払額	10,682	16,886
法人税等の還付額	28,602	-
法人税等の支払額	186,870	249,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	619,129	1,127,704

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	200,000	-
有形固定資産の取得による支出	867,411	438,812
無形固定資産の取得による支出	972,204	1,109,208
投資有価証券の取得による支出	380,310	477,500
投資有価証券の売却による収入	353,400	614,483
貸付けによる支出	-	28,350
貸付金の回収による収入	85,500	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,981,026	1,439,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	796,000
短期借入金の返済による支出	100,000	716,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,250	-
少数株主からの払込みによる収入	31,500	-
自己株式の取得による支出	1,482,517	-
配当金の支払額	395,732	369,901
少数株主への配当金の支払額	3,188	-
その他	606	822
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,945,295	290,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,839	1,475
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,309,031	603,882
現金及び現金同等物の期首残高	11,674,706	8,382,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,365,675	7,778,694

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)

(単位:千円)

	モバイル事業	ゲーム事業	ポータル事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	13,266,454	2,919,140	2,211,515	923,952	19,321,062	-	19,321,062
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	-	23,690	69,640	94,330	(94,330)	-
計	13,267,454	2,919,140	2,235,205	993,593	19,415,393	(94,330)	19,321,062
営業利益又は営業損失()	3,555,752	360,843	1,340,164	53,250	2,523,181	(2,040,045)	483,135

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	モバイル事業	ゲーム事業	ポータル事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	13,741,901	4,097,751	4,438,245	743,747	23,021,645	-	23,021,645
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,200	11,009	9,160	577,694	599,063	(599,063)	-
計	13,743,101	4,108,761	4,447,405	1,321,441	23,620,709	(599,063)	23,021,645
営業利益又は営業損失()	3,237,558	812,432	43,005	134,016	3,872,969	(2,180,630)	1,692,338

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品・サービス

事業区分	主要製品・サービス
モバイル事業	モバイルコンテンツ配信等
ゲーム事業	ゲームソフト開発、販売等
ポータル事業	携帯電話並びにPCのメール及びWeb等を利用した各種情報・付帯 広告の配信、動画投稿共有サイトの運営等
その他事業	ネットワークを利用した製品・商品販売、書籍等の企画・編集、 ソフトウェア受託・サポート等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年10月1日 至平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年10月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年6月30日）

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。